

卒業50年…懐かしい顔・顔・顔

大学14回生

昭和31年経済白書に「もはや戦後ではない」と書かれてから10年、

飛躍的な経済成長を迎えた昭和41年に160名の同窓生が上野台を巣立ちました。それからちようど50年、なんと半世紀という永くも短い時間があつという間に過ぎ、時空を超えあの日・あの頃の四星霜が今さらのようによみがえります。信長が舞つたと言われる幸若舞「敦盛」は人生を50年としていますが、私達は企業戦士として既に50年、激動の半世紀を生き抜いてきました。

昭和41年3月の卒業式には草場学長のご祝辞のあと、木下郁當時の大分県知事が次のように激励されました。「皆さんはこれから社会に出て、自分を学問を修めた知的な力ミソリと思つてはならない。カミソリはせいぜい髭を剃るぐらいであまり社会の役にはたらない。鈍刀骨肉を切るような活躍の人になつて欲しい。」と云う意味の訓示を頂きました。

卒業50周年記念ということで衛藤伸一四極会事務局長を中心に13名の世話人が5〜6回の事前の企画打ち合わせを行いました。

今回の大分開催は昨年新装の大分駅ビル周辺と新大分県立美術館など大きく変貌した青春の地を見てもらおうという願いが込められていました。さらに新しい試みとして大野元教授(監査論)が30年間顧問をされたマンドリンクラブの演奏を特別にお願いすることにしました。

平成28年3月18日(金)大分市のセンチュリーホテルに60名の参加がありました。会合に先立ち、希望者12名による新装の大分県立美術館を見学しました。来賓として大野公義元教授、四極会石川会長(大12)にご臨席をいただきました。記念撮影のあと、総勢12名の大分大学マンドリンOB会による美しい演奏に皆聞きほれていました。演奏会の最後の5曲は全員で「ふるさと」などを合唱し、母校の伝統あるクラブによる演奏というところでさらに親近感が湧いたようでした。



大分市内のホテルに60名が参加

懇親会に先立ち物故者20名の黙祷からはじまりました。三原卓雄さんの開会の辞のあと加藤英彦代表世話人の挨拶があり、四極会石川会長、恩師大野先生の祝辞と続きました。

大石政臣さんによる乾杯の発声があり、会場はすぐさま大宴会場に変わり、久しぶりの懐かしい顔がそれぞれ旧交を温めていました。衛藤伸一事務局長が卒業アルバムからIT技術を駆使し、母校上野台のキャンパスやゼミナール、クラブ活動、寮生活の模様などのプロジェクトションによるスライドショーを楽しみました。ところが

全く思いがけないことが起きました。あれほど記念同窓会の準備に一生懸命だった衛藤事務局長が、検査の結果急遽入院ということになり、一同声を飲みました。幸い術後の回復が順調のようで、ほつと安心してるところです。

フリータイムは全国各地の代表による近況報告をしていただきました。北海道地区・後藤久さん、関東地区松浦靖弘さん、福岡地区・伊藤田禎生さん、大分地区・土森武さん。いずれも話が上手く、この年になれば職場や団体でみがかれたユーモアたっぷりのスピーチにさすがと皆感心していました。

神崎哲一さん塩月靖浩さんによる詩吟の朗詠があり、清澄で落ち着いた朗々たる声に一同聞き入っていました。校歌・逍遙歌・寮歌は有志5〜6人が壇上で肩を組み声高らかに皆で歌いました。此本英一郎さんによる軽妙な閉会の挨拶があり、中でも開校100周年記念募金の協力依頼には特に力が入っていました。

最後に加藤代表が、同窓会に参加するには「健康と経済的な余裕と家族の理解と協力が必要」と締めくくり、この3要素を一つずつ終活への一里塚として大切に、再会を誓つたあと、平井丈夫さんの音頭による万歳三唱で締めました。

14回生の同窓会は毎回オリピック開催年と合わせており、次

回は東京大会と同じ4年後の再開を約して散会しました。

2次会はカラオケ(スナックひばり・歌い放題)組とコーヒー(ほんじろ・静かに語ろう会)に別れ、それぞれ15〜6人ずつ夜の街に繰り出しました。両方とも相当盛り上がったようでした。

翌日は大分竹中ゴルフコースでゴルフを行ない2組(伊藤田、此本、新名、篠田、釘宮、林、藤澤、土森)各氏が参加しました。

また国東半島バス観光巡りに12名が参加しました。

▼出席者(来賓2名、会員60名、総計62名、敬称略)

- 「会員」安部直敏、安部慶夫、荒谷文男、安東佳子、石井健治、伊藤田禎生、井上辰之、井上直樹、今永勝英、内田勝久、衛藤文秀、衛藤潤二、大石政臣、大塚茂樹、小畑典彦、葛城征志、加藤英彦、神崎哲一、釘宮孝、古賀裕敏、後藤久、此本英一郎、小松茂雄、是松武宣、塩月靖浩、篠田公孝、柴田雅道、嶋田彰、末安健作、鈴木明久、園田健治、竹村晴隆、田所壮介、田中正悟、田辺悦孝、塚本哲、次森彬、土森武志、中尾義郎、中島稔、新名武敏、西野守秀、橋内厚、羽田野式男、林協一、日高巖、平井丈夫、平松幹庸、藤沢恒生、藤波薫、堀寛爾、松浦靖弘、松嶋育男、松本伸一、三原卓雄、森修吾、薬師寺和雄、山崎靖信、吉田彰秀、吉田英祐 (松嶋育男 記)